

教育力向上の取り組みの概要

学部・学科・課程、研究科・専攻ごとの教育研究上の目的、教育課程を通じて修得が期待される知識・能力の体系（どのようなカリキュラムに基づいて、どのような知識・能力を身につけることができるのか）、学修の成果に係る評価や卒業の認定に当たっての基準、各種評価の結果を踏まえた教育改善、特色ある教育研究活動の状況、教職員の職能開発の状況の特長等を紹介する。

(1) FD活動

教員の教育力向上のために、積極的にFD活動を展開している。

本学では、平成15(2003)年に健康福祉学部企画委員会の下部組織として教育活動検討専門委員会(通称FD委員会)が設置され、翌平成16年度から正式にFD委員会として活動が始まりました。その後、平成19(2007)年にリハビリテーション学部が、平成21(2009)年に子ども学部が新設されたため、それらの学部を含めた3学部を統合したFD委員会に改組し、本委員会を中心としてFD活動が組織的に継続して行われてきた。その後、学生による授業評価を軸に地道な活動を通して年々その活動の幅を広げるとともに深化させてきた。現在、学部教員による授業公開、教育力向上のためのFD研修会、学生による授業評価アンケート、大学コンソーシアム佐賀のFD/SD部会との連携によるFD研修会などを柱としてFD活動を行っている。さらには、学生による授業評価に基づく教員の授業改善に取り組んでいる。

(2) 就業力育成支援

「新あすなろう体験」の導入による就業力育成の実質化(H22就業力GP)

平成22年度文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業(就業力GP)」に、西九州大学の取組(真の就職率ナンバーワンプロジェクト)が採択(H22~H26の5カ年計画)され、建学の精神である「あすなろう精神」をより高度に具現化した新しい教育プロセスを導入することにした。

(教育課程の整備) 全学共通教育への3科目の新設

「あすなろう体験Ⅰ(基礎)」(1年次通年、必修1単位) H23開設

「あすなろう体験Ⅱ(実践)」(2~4年次の通年、選択1単位) H24開設

「あすなろう体験Ⅲ(応用実践)」(3~4年次の通年、選択1単位) H25開設

(取組を支えるツールの整備・開発)

「キャリア・ポートフォリオ(CP)」を整備する。

→ H22システムを導入し、H23から運用を開始する。

(取組総括主体の整備)

プロジェクト推進センターとして、「あすなろうセンター」を立ち上げる。

→ H22・12月 事務局内に設置した。

センターは、専門教育を担う各学科、実際に就職斡旋を行う学生支援課、修学状況を把握する教務課と連携を取りながら、「専門教育」と「教養教育としての職業人教育」を連動させるコーディネートを行う。